

第29回出版委員会の開催

－ 出版委員会 －

令和3年11月18日（木）、岩見吉輝委員長（国土交通省総合政策局公共事業企画調整課長）をはじめ委員11名の出席のもと、第29回出版委員会がWEB会議で開催されました。委員会では下記の議事が審議され、「基礎から学ぶインフラ講座」（第2版）が出版されることになりました。

委員会では下記の議事が審議されました。

- 「基礎から学ぶインフラ講座」について
- 今後の出版について

－ 主な意見

- ・「基礎から学ぶインフラ講座」は、多分野のベーシックな内容が書かれており、特に若い職員に役に立つ書籍だと思う。例えば各地方整備局の新規採用者研修で活用したり、各都道府県協会等に研修で使ってもらうように案内するなど、プロモーションについても考えていくとよいと思う。

第679回建設技術講習会を岐阜市で開催

第679回建設技術講習会が、岐阜市で令和3年12月1日（水）～3日（金）の日程で、「工事積算（土木・建築）の動向とi-Constructionの取り組み」をテーマに開催されました。

この度の講習会では、聴講は会場収容人数581名のところ募集人数288名、現場研修は大型バス乗車定員49名/台のところ24名以下/台×6台とし募集人数136名、交流会はなしとし、新型コロナウイルス感染症における必要な対策を講じた上で、聴講226名、現場研修134名の参加を得て実施しました。

講習会初日は、下記の講義が行われました。

- 国土交通行政に関する情報提供
- 土木工事積算の直接工事費算定における留意点
- ヒューマンエラーの原因と対策

講習会2日目は、下記の講義が行われました。

- 公共工事と会計検査
- 公共建築工事の円滑な施工確保対策
- 工事積算の動向とi-Constructionの取組
- 建設工事における事故と安全対策
- 地域事業 4事業

講習会3日目の現場研修は、「長良川プロムナード」「（仮称）新愛岐大橋 下部工工事」「犀川遊水地牛牧樋門・排水機場工事」「東海環状自動車道 地盤改良工事」を視察しました。



国土交通省大臣官房技術調査課
建設システム管理企画室
林雄一郎室長の講義の様子



現場研修の様子
（仮称）新愛岐大橋の整備

令和3年度公共工事品質確保技術者 資格試験の合格者認定などを審議

－ 公共工事品質確保技術者資格認定委員会 －

令和3年12月8日（水）、協会会議室において木下誠也委員長（日本大学危機管理学部危機管理学科教授）はじめ委員8名（代理1名を含む。）とオブザーバー1名の出席（WEBによる出席3名を含む。）のもと、第3回公共工事品質確保技術者資格認定委員会が開催されました。

委員会では下記の議事が審議され、原案のとおり承認されました。

○令和3年度合格者の認定について

- ・品確Ⅰの合格者 57名
（受験者総数 68名 合格率83.8%）
- ・品確Ⅱの合格者 56名
（受験者総数 66名 合格率84.8%）

また、議事終了後、「令和3年度登録更新結果」が下記のとおり報告されました。

- ・品確Ⅰ更新者 238名 再登録者 5名
（更新対象者 395名 更新率60.3%）
- ・品確Ⅱ更新者 550名 再登録者 10名
（更新対象者 741名 更新率74.2%）